太平洋ベルト地帯は本当に日本か。アメリカとたいして変わらない地域だ。東北にこそむしろ本当の日本文化があると思う。山の向こうにもう１つの日本がある。大都市圏だけが日本ではない」というような内容のことを指摘された。私はこれを読んで感激した。

太平洋側は光輝いているが、東北は光が輝いていないかというと、実はそうではない。確かに東北各県を経済的数値で見ると、県内総生産も低いし、県民所得の水準も高いとはいえない。経済的数値で見る限りは、首都圏や関西圏と比べるとはるかに劣っている地域だ。しかし自然の豊かさや通勤時間の短さ、食材の豊かさや伝統芸能・伝統祭り、自由時間の多さ、犯罪率の低さなどで考えると、東北の方がはるかに豊かな地域だ。ライシャワー先生は東北の持つさまざまな魅力というものを、日本人はもっと大切にすべきだとおっしゃっている。まったく同じことが「北陸」についても言えるだろう。北陸にも東北にもさまざまな日本が息づいており、どちらも魅力ある日本に他ならない。北陸をはじめとするさまざまな日本がイキイキと光輝くこと、それが日本が「観光立国」を実現していく上で、非常に重要な力を発揮していくことになる。

北陸地域の魅力や「光」を自らの判断と強い意思をもって育くみ、発信していく。それを国や自治体といった公的な機関が、有効な形でサポートしていく。民と官がお互いに力を合わせながら、新しい北陸の未来を切り開いていく。そうした戦略的な取り組みをぜひ期待したい。